

第7回理事会議事録

1. 日時 : 2013年1月25日(金) 午後6時30分～8時25分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル2F
3. 出席者:【出席11名】 細田博之、嶋山勝郎、山口知也、兼岩芳樹、神代高弘、齋藤陽子、島村京子、寺本直志、中谷忠義、久富浩、山田和彦
【欠席2名】 ロバート・ゲラー、平田眞
【監事2名】 成田秀則、水谷建(大泉紘一監事は欠席)
【事務局3名】 大政事務局長、清水普及事業部長、鈴木競技会事業部長代行
【オブザーバー1名】 宮内宏顧問弁護士
(理事現在数:13名、定足数7名、本人出席11名)

4. 議事の経過及び結果

細田博之会長を議長に、議題を逐一審議した。

第1号議案 第6回理事会議事録案の承認について
議事録案を一部修正し、これを承認した。

第2号議案 平成25年度予算案について

平成25年度予算第二次案が提出された。

第一次案との比較では九州支部および福岡ブリッジプラザ関連の収支については6ヶ月分の家賃を除いてすべて削除したとの説明があったが、福岡ブリッジプラザが独立することになったため、4月以降は家賃を支払うことがなくなるため、これを削除することに決定した。また、4月以降九州支部関連の交渉や福岡ブリッジプラザの支援のために九州支部支援事業の旅費交通費を確保する要請が嶋山理事および神代理事よりあったため、旅費交通費を20万円復活することになった。

現時点で収益2億6613万円、費用2億8829万円、合計2216万円の赤字との説明があった。

山田企画委員長より、NECブリッジフェスティバル1回分とYeh Bros杯の経費合計が約1700万円あり、この経費を除いて収支均衡を目指す方針で、2月及び3月の企画委員会で検討すると説明があった。

嶋山理事より、Yeh Bros杯の経費は、他の経費を圧縮して予算計上すべきとの意見が出されたが、Yeh Bros杯は赤字開催につき以前の理事会で承認されているとの発言があり、本件はこれ以上討議されなかった。

大政事務局長より円安傾向のため、当初予算のドル相場よりも NEC ブリッジ フェスティバルは経費増になる可能性がある点及び 2013 年 9 月にバリ島で開催される世界選手権の日本からの直行便の運賃が高いため、ジャカルタ、シンガポールなどを経由する運賃も検討すると説明があった。

事業計画書については 2 月及び 3 月に開催される企画委員会で内容を検討し、理事会に提出するとの報告があった。

予算及び事業計画書については 3 月開催の理事会で承認し 3 月末までに内閣府に提出することを確認した。

第 3 号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

1 月 11 日開催の企画委員会での審議内容について、以下の報告があった。

- ・ 予算案について：第 2 号議案
- ・ 会費制度検討ワーキンググループ第 2 回会合

寺本 WG リーダーより第 2 回会合の検討内容について説明があった。

今後の戦略のために、可能なら生年月日登録を義務化したいとの説明に対し、宮内顧問弁護士より、義務化しても登録しない会員に厳しい罰則を科すことは違法であると発言があった。生年月日未登録の既存の会員会友に対して登録者に景品を出すキャンペーンを行う提案があり、今後ワーキンググループでも検討を行い、次回理事会で改めて検討することに決定した。

Suica を会費や競技会参加料の支払いに使用できないか検討中と報告があった。

2. 九州支部

鳩山理事より以下の報告および提案があった。

- ・ 福岡ブリッジプラザの賃貸契約について、勝部九州支部長と木下、小山両氏が面談し、まず木下、小山両氏が家主の川原氏と面会して、川原氏から契約についての感触を得てから、正式な交渉を持つことになった。
- ・ 1 月から 3 ヶ月間高野和生氏と業務委託契約を結び、プラザでレッスンを始めて顔を売り込んでいる。3 ヶ月の間にプラザの業務を理解してほしい。

神代理事より、新しいプラザの代表の友枝氏は現在の会場で運営を続けることを望んでいるようだとの追加報告があった。

3. ルール委員会

宮内ルール委員長より 1 月 10 日に開催されたルール委員会の報告があった。

4. 代表選抜委員会

1月15日に締め切られた APBF 選手権シニアについて、以下の3チームの参加申込があったとの報告があり、この3チームをシニア代表チームに指名することを了承した。

1. 大野京子、山田彰彦、中村嘉幸、平田眞、吉田正
2. 森村俊介、今倉正史、阿部弘也、大橋正幸
3. 宮国健次、逸見徹、田多井菊雄、徳永幸子、太田裕子、NPC 宮国亜矢子

また、オープンのプレイングキャプテンに陳大偉氏、ウィメンの NPC に小池和人の指名があり、これを承認した。

5. 普及事業部

清水普及事業部長より広告宣伝費の内訳について説明があった。

- ・第一次予算案に広告宣伝費 800 万円を計上したが、内訳として、機内誌、パズル誌等への広告が予定されているが、あらかじめ個別に掲載額と回数を計算して出したものではなく、概算で計算したものである。
- ・広告宣伝費概算 800 万円を目的別に整理すると、20～30 代対象 PR に 400 万円、シニア富裕層対象 PR に 150 万円、JCBL 一般広報 PR に 150 万円、単発 PR またはプロモーションに 100 万円になる。(第 1 次案)
- ・普及担当理事と見直しを行い、シニア富裕層対象 PR と単発 PR またはプロモーションを 50 万円ずつ減額し、集客広告支援に 100 万円計上した。
- ・1 月の企画委員会で、より厚く告知広告に予算配分する意見を受けて、普及担当理事と再検討を行い、20～30 代対象 PR に 250 万円、シニア富裕層対象 PR に 100 万円、JCBL 一般広報 PR に 150 万円、単発 PR またはプロモーションに 50 万円、集客広告支援に 250 万円計上した。(第 2 次案)
- ・予算削減の必要が生じた場合は JCBL 一般広報 PR の 150 万円と集客広告支援の 250 万円を確保し、全体予算確定後、上限金額を決めて重点普及対象 PR に予算を割り当てる。
- ・2008 年度から 2011 年度の実績と 2012, 2013 年度の予算から、年度毎の広報経費の総額と内訳についても説明があった。

第 2 次案の集客広告支援の 250 万円を承認し、負担割合、金額の上限と 1 センターに対する回数上限を普及事業部で検討して次回理事会に報告することに決定した。

JCBL 一般広報 150 万円については清水部長より他の事業部による PR の金額も含まれており、予備費的な性格でもあるとの説明があり。これを承

認した。

検討の結果、第2次案の内容について了承し、さらに企画委員会で検討を
求めることになった。

6. 競技会事業部

事業部活動状況及びシルバーライフマスター3名、シニアライフマスター2
名、ライフマスター7名の資格取得者の報告があった。

7. 国際交流事業部

中谷国際交流担当理事より海外の NEC ブリッジフェスティバル参加申込
が前回理事会時点での15チームから11チームとなったとの報告があった。
うち4チームに交通費・宿泊費6000ドル、残りのチームに宿泊費3500
ドルの助成を行う予定で連絡を入れ、2月末までの返答待ちとの報告があ
った。

第4号議案 その他の議案

1. 四谷ブリッジセンターとの交渉について

大政事務局長より今後虎ノ門実業会館と1階を連盟が、2階と地下1階を
四谷BCが契約して、家賃を直接支払う契約変更について虎ノ門実業会館
は合意していると説明があった。

現在四谷BCと、連盟が競技会会場として使用した場合の費用、図書スペ
ースの費用、四谷BCの1階のサロンスペース、倉庫使用の費用などにつ
いて費用の負担を検討中と報告があった。

2. 次回の理事会開催について

次回理事会は2013年3月22日(金)18時30分より開催するが、議案に
よっては、加えて2013年2月22日(金)18時30分より開催する。

当日配布書類：第3号議案「第49回 APBF 日本代表(シニア)およびオープン・ウィメン
のキャプテン指名について」

「Candidate for 2013 NEC Cup Invitation Teams」

平成 25 年 1 月 25 日 (2013 年)

公益社団法人日本コンストラクトブリッジ連盟

第 7 回理事会

代表理事 細田 博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 成田 秀則

監 事 水谷 建